

10月2日、2学期制を取っている市では後期の始業式が行われました。3学期制では、10月2日（月）は後期生徒会、委員会のスタートです。

9月29日（金）の放送では、前期の視聴覚委員（放送）の子が、工夫した放送での企画を楽しそうに放映していました。「最後まで頑張っているね」と声をかけると、「**レベルを少しでも上げて後期に渡したいから**」と答えてくれました。バトンを渡す瞬間に、「次は頼んだよ」と気持ちを入れているのですね。



緑化委員会では前期の終わりに、どうしてもやりたかった活動で、これまでできていなかった活動を行いました。それは日々の水やりの活動以外に、「**地域に花を**」という当初に活動方針として掲げた活動でした。生徒と担当者が話し合い検討した結果、**ふれあいセンターに切り花を**寄贈しようということになったそうです。



前期緑化委員の子たちが、学校で大切に育てた花を切り揃え、授業後に三和、室場ふれあいセンターに届けました。

両センターの方々も大変喜んでくださり、感謝の言葉をいただきました。



活動としては派手さはないかもしれませんが、小さな小さな活動ですが、生徒たちの思いが実現でき、心の交流が図られたことが本当によかったと思っています。

現在、生徒会が中心となり後期の生徒会スローガンについて話し合っています。今回もタブレット端末を使い全員の思いを集約するようです。どんなスローガンや活動方針になるか今から楽しみです。



生徒会・委員会以外にも自主的なボランティア組織が随時立ち上がっています。たとえば、保育園のボランティアです。募集をかけるとすぐに予定人員に達します。9月下旬は室場保育園の運動会のボラ

ンティアを行いました。保育士さんの指示のもと、一緒に踊って盛り上げたり、4チームに分かれてテント、椅子、看板や旗の片づけをてきぱきと行ったりしました。園長先生をはじめ、多くの人たちから温かい言葉をいただき、達成感を得たことが、表情よりわかりました。